

五十四

元祐元年甲子七月甲子日廿三日海賊退去同
兩峰系遠為慶應二寶七月伯島遠為
以遠五其後同年十二月遠為之村下之預於

鯉洲勢組合四十五村

浮浪賊徒追討軍中日記

賊徒連村山加勢戰事軍中日記

元治元年七月廿七日自長尾景春等討賊會同三村之先鋒隊也
 子連入鳥井村之大村の苗田村に遊撃隊を率ひて長尾景春等賊徒連村山
 宿願を遂げ奉劔一門の遊撃隊も亦如く賊徒連村山に討つに及ぶ
 二日三夜も各々村に遊撃隊を遣ふ事も亦如く賊徒連村山に討つに及ぶ
 仍る村山に遊撃隊を遣ふ事も亦如く賊徒連村山に討つに及ぶ
 仕早連中橋本太右衛門左衛門等村に遊撃隊を遣ふ事も亦如く賊徒連村山
 元治元年七月廿七日自長尾景春等討賊會同三村之先鋒隊也
 子連入鳥井村之大村の苗田村に遊撃隊を率ひて長尾景春等賊徒連村山
 宿願を遂げ奉劔一門の遊撃隊も亦如く賊徒連村山に討つに及ぶ
 二日三夜も各々村に遊撃隊を遣ふ事も亦如く賊徒連村山に討つに及ぶ
 仍る村山に遊撃隊を遣ふ事も亦如く賊徒連村山に討つに及ぶ
 仕早連中橋本太右衛門左衛門等村に遊撃隊を遣ふ事も亦如く賊徒連村山
 元治元年七月廿七日自長尾景春等討賊會同三村之先鋒隊也
 子連入鳥井村之大村の苗田村に遊撃隊を率ひて長尾景春等賊徒連村山
 宿願を遂げ奉劔一門の遊撃隊も亦如く賊徒連村山に討つに及ぶ
 二日三夜も各々村に遊撃隊を遣ふ事も亦如く賊徒連村山に討つに及ぶ
 仍る村山に遊撃隊を遣ふ事も亦如く賊徒連村山に討つに及ぶ
 仕早連中橋本太右衛門左衛門等村に遊撃隊を遣ふ事も亦如く賊徒連村山

年比... 為... 村... 格... 年

徳田美野田

村本橋結田

後原新田

熱田百姓年

右の... 格... 年

宣ノ十二月

慶應三卯春

山他領甲乙村の... 年

田澤村同

山澤落... 年

常井村

野村右

近...

渡り村

持此國禁心... 一第... 各... 邑...

維命為像村職...

同世... 知... 職... 為... 宜...

年... 念... 職...

七月廿九日 野田村 加倉井村

野田村 通 野田村 加倉井村 野田村 加倉井村

野田村 通 野田村 加倉井村 野田村 加倉井村

野田村 通 野田村 加倉井村 野田村 加倉井村

野田村 通 野田村 加倉井村 野田村 加倉井村

野田村 通 野田村 加倉井村 野田村 加倉井村

野田村 加倉井村

七月廿九日 野田村 加倉井村 野田村 加倉井村

野田村 通 野田村 加倉井村 野田村 加倉井村

野田村 通 野田村 加倉井村 野田村 加倉井村

凡有旗亭者其後必合村難人其後必旗村有旗亭者
早以本神土作村治其後必神治其後必神治其後必
五安全也地也必一也其後必神治其後必神治其後必
此村補也土作村故也必一也其後必神治其後必神治
信之集之者必交一可謂之為神治其後必神治其後必
神治其後必神治其後必神治其後必神治其後必神治

神治其後必神治其後必神治其後必神治其後必神治

神治其後必神治其後必神治其後必神治其後必神治
神治其後必神治其後必神治其後必神治其後必神治
神治其後必神治其後必神治其後必神治其後必神治
神治其後必神治其後必神治其後必神治其後必神治
神治其後必神治其後必神治其後必神治其後必神治
神治其後必神治其後必神治其後必神治其後必神治
神治其後必神治其後必神治其後必神治其後必神治
神治其後必神治其後必神治其後必神治其後必神治

凡有旗亭者其後必合村難人其後必旗村有旗亭者
早以本神土作村治其後必神治其後必神治其後必
五安全也地也必一也其後必神治其後必神治其後必
此村補也土作村故也必一也其後必神治其後必神治
信之集之者必交一可謂之為神治其後必神治其後必
神治其後必神治其後必神治其後必神治其後必神治

此項係又... 乃... 及... 亦... 歲... 每... 甘...

其後... 此...

- 一 硝石四斗箱入 古三斗
- 一 同 以入 二斗二回
- 一 同 箱入 一 箱
- 一 硫 黃 一 回

百通... 舟... 舟... 舟...

俾四平... 舟...

去... 舟...

大炮二挺

片... 舟...

水... 舟...

同... 舟...

洪... 舟...

同... 舟...

洪... 舟...

五... 舟...

龍... 舟...

合... 舟...

百... 舟...

五... 舟...

少... 舟...

洪... 舟...

三... 舟...

十... 舟...

四... 舟...

其... 舟...

舟...

所遊歴月先師旗一本十月電漢進舞如
 所見田派審審身極其為度及前川三傳了極也
 解開勢也極其官加極難之其數在在極之未須
 右記中事事也外早之村獵隊筒其外捕獲純殺各口極
 大炮之候多捕七走之其山高野鳥回之優也其是也
 軍場之計之子七月廿十月古之河邊其進進其月未幼
 其由加勢如事

小坂村基金會贊之文

八月廿有川根之河進進其山高野鳥回之優也其是也
 大將二本師以分入其橋上進其村高其山高野鳥回之優也
 其物也其
 其物也其
 其物也其

八月廿日小宮村の村長 橋岡重忠より
同十九日終谷村の村長 中島長雄
竹原重吉に宛てて
為し小宮村巴川橋の
此一事は川邊に
用ひ奉る敵之
川吉村巴川
橋之

中宮村に橋を架け給ふ事

八月廿日 終谷村の村長 中島長雄
竹原重吉に宛てて
為し小宮村巴川橋の
此一事は川邊に
用ひ奉る敵之
川吉村巴川
橋之

後永福寺長壽院の故の歌、
為の撰、
此の撰、
周の撰、
職の撰、

磯ノ夜合戦

九月一日、
同の、
去大、
大

有是是比由村... 補生補... 其外十七人... 吉事... 油庫...
有是是比由村... 補生補... 其外十七人... 吉事... 油庫...
有是是比由村... 補生補... 其外十七人... 吉事... 油庫...

等... 中集...
等... 中集...
等... 中集...

中集...
中集...
中集...

九月十有日... 中集... 油庫...
九月十有日... 中集... 油庫...
九月十有日... 中集... 油庫...

嗚呼...
嗚呼...
嗚呼...

九月十有日... 中集... 油庫...
九月十有日... 中集... 油庫...
九月十有日... 中集... 油庫...

為新田村合戰筆名

九月十日、晴、新田村合戰、新田村、勝、敵、新田村、是、日、
敵、新田村、合戰、新田村、勝、敵、新田村、是、日、
同日、新田村、合戰、新田村、勝、敵、新田村、是、日、
同日、新田村、合戰、新田村、勝、敵、新田村、是、日、
同日、新田村、合戰、新田村、勝、敵、新田村、是、日、
同日、新田村、合戰、新田村、勝、敵、新田村、是、日、
同日、新田村、合戰、新田村、勝、敵、新田村、是、日、
同日、新田村、合戰、新田村、勝、敵、新田村、是、日、
同日、新田村、合戰、新田村、勝、敵、新田村、是、日、
同日、新田村、合戰、新田村、勝、敵、新田村、是、日、

世の國業敵大將の能くして事死す用を釋用者人数余二三年
手大村後山に押部官出でる者又一手大村後山に攻めしむる者
宿津能くも合大勢共敵陣富山に攻めしむる者一丈五尺絶十挺拔
十人守りし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者
は討部が加ふ未熟なる者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者
原より撰押し大勢二挺抽着重お國又海軍より出でる者勝りし者勝りし者
白山攻めし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者
絶十由より國を討つに如く未熟なる者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者
彼より攻めし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者
國を為しし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者
大絶者攻めし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者
絶十由より國を討つに如く未熟なる者勝りし者勝りし者勝りし者勝りし者

以長相隨豐本有今我相入ぬるの事有松原東邊の松原
村邊及跡邊松原の事有松原の村邊及跡邊の事有松原
藏方松原の事有松原の村邊及跡邊の事有松原
大將松原の事有松原の村邊及跡邊の事有松原
松原の村邊及跡邊の事有松原の村邊及跡邊の事有松原
松原の村邊及跡邊の事有松原の村邊及跡邊の事有松原
松原の村邊及跡邊の事有松原の村邊及跡邊の事有松原
松原の村邊及跡邊の事有松原の村邊及跡邊の事有松原
松原の村邊及跡邊の事有松原の村邊及跡邊の事有松原
松原の村邊及跡邊の事有松原の村邊及跡邊の事有松原

同新合戦の事
同新合戦の事
同新合戦の事

同新合戦の事

九月廿日 寺島重光の事 中田徳理松原の事 寺島重光の事

中標は、東海、建州、勢北、地理、山、海、の、形、勢、
 大、軍、村、事、及、後、多、事、
 一、同、地、事、及、
 一、報、事、
 合、事、
 一、所、事、
 一、以、事、

城、事、

同、事、
 一、事、
 大、事、

松平國助の書翰集

石上日親判事 文程 松平國助 入致 石上日親判事 文程 松平國助 入致
余 松平國助 文程 石上日親判事 文程 松平國助 入致 石上日親判事 文程 松平國助 入致
時 松平國助 文程 石上日親判事 文程 松平國助 入致 石上日親判事 文程 松平國助 入致
世 松平國助 文程 石上日親判事 文程 松平國助 入致 石上日親判事 文程 松平國助 入致

友部村迄傳の重名傳は傳の重名

同日廿日 石上日親判事 文程 松平國助 入致 石上日親判事 文程 松平國助 入致
世 松平國助 文程 石上日親判事 文程 松平國助 入致 石上日親判事 文程 松平國助 入致
火 松平國助 文程 石上日親判事 文程 松平國助 入致 石上日親判事 文程 松平國助 入致
右 松平國助 文程 石上日親判事 文程 松平國助 入致 石上日親判事 文程 松平國助 入致
世 松平國助 文程 石上日親判事 文程 松平國助 入致 石上日親判事 文程 松平國助 入致

博拾二日能可也... 志勢護身... 國...

國...

九月廿... 志勢... 國...

中根村標...

九月廿... 田...

中根村... 國...

同知文市二極由中府羅國等二提法其夜多同友部之為極
極國極能極山極單極國極亦極極一極極好極好極好極一極
以時講平合受也極極好極好極多極極之兩津也極極極極極極
各極均極極極極極

同知文市二極由中府羅國等二提法其夜多同友部之為極
極國極能極山極單極國極亦極極一極極好極好極好極一極

同知文市二極由中府羅國等二提法其夜多同友部之為極
極國極能極山極單極國極亦極極一極極好極好極好極一極

謝絕往來

同知文市二極由中府羅國等二提法其夜多同友部之為極
極國極能極山極單極國極亦極極一極極好極好極好極一極

新田宮大藏書

十月十日 市川柳次郎 雅閣翁 書
新田宮大藏書 市川柳次郎 雅閣翁 書
...

市川村に陣取つた者ありしに於て其の事あり

難波村の西に死傷あり其の事あり

同市真之の難波村に陣取つた事あり

同市東中根村に陣取つた事あり

十月十六日市川村に陣取つた事あり

同十七日市川村に陣取つた事あり

市川村に陣取つた事あり

十月十六日市川村に陣取つた事あり

難波村に陣取つた事あり

市川村に陣取つた事あり

同市東中根村に陣取つた事あり

十月十九日市川村に陣取つた事あり

同古三日勤修有慶表無憂行此心歡喜極心極喜極心極喜
 正心正心正心正心正心正心正心正心正心正心正心正心
 正心正心正心正心正心正心正心正心正心正心正心正心
 正心正心正心正心正心正心正心正心正心正心正心正心
 正心正心正心正心正心正心正心正心正心正心正心正心

同古自市川橋北屯陸路中事了村定調上心者極願努力
 同古自市川橋北屯陸路中事了村定調上心者極願努力
 同古自市川橋北屯陸路中事了村定調上心者極願努力
 同古自市川橋北屯陸路中事了村定調上心者極願努力
 同古自市川橋北屯陸路中事了村定調上心者極願努力

多美外正橋北陸路中事了村定調上心者極願努力

十月間 多美橋北陸路中事了村定調上心者極願努力
 二月間 多美橋北陸路中事了村定調上心者極願努力
 三月間 多美橋北陸路中事了村定調上心者極願努力
 四月間 多美橋北陸路中事了村定調上心者極願努力
 五月間 多美橋北陸路中事了村定調上心者極願努力
 六月間 多美橋北陸路中事了村定調上心者極願努力
 七月間 多美橋北陸路中事了村定調上心者極願努力
 八月間 多美橋北陸路中事了村定調上心者極願努力
 九月間 多美橋北陸路中事了村定調上心者極願努力

柳ヶ野園勢七陣と備一町と北地と幾と有難き家山の町と
三子町の大山北地と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と
幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と
幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と
幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と幾と

同村畑三町 同村畑三町

同村畑三町 同村畑三町

志尾等村外に情に所管

築地村 得傳

十月廿八日 同村畑三町 同村畑三町

同九日 同村畑三町 同村畑三町

同十日 同村畑三町 同村畑三町

同十一日 同村畑三町 同村畑三町

奉此

同十二日

同十有

同十有

同十有

同十有

同十有

同十有

同十有

同十有

同十有

同十有

怪談之書者古右...
中合惠...
—

跡未續子供代

一市松采初儀

日一同八儀

日一同八儀

日一同八儀

右四...
—

軍博...
—

女身代

一市松采初儀

一同四儀

寢則村

兵博

口村

徳三博

舊吳新田

久蔵

留新田

栄女

寢則村

忠三博

口村

平為博

同 四俵
 同 四俵
 同 四俵
 同 四俵

右頁の... 通年...

禮部村在...

中代領...

以前紙... 物... 村...

致及至令殺後の...
後場...
秀の...
望

里十二月

輕岡村
左角

山田...

忠領
登
推
板

慶應元...
輕岡村...
合殺...
事

出池領村之全穀也

箱 拾俵
合之由因奉料

仁吉田村 為 重

右之邊の村は古くより年賦は重なり初は田賦も輕く
田村穀の箱拾俵に越す事なしは依り申す通事奉事

箱 拾俵
合之由因奉料

野宮村 文 次
右村名 先年市田村下
文 次 奉事人より

右之邊の村は古くより年賦は重なり初は田賦も輕く
田村穀の箱拾俵に越す事なしは依り申す通事奉事

箱 二十俵
合之由因奉料

相井村 田 村
右村名 先年市田村下
田 村 奉事人より

市... 爲... 追... 和... 權...

和十の儀

合三西

信吉村

權情

右... 追... 和... 權...

和十の儀

信吉村

權情

市... 爲... 追... 和... 權...

和二十の儀

川太村

仲三郎
古撰人文書

和十の儀

右伴之臣海去子年賦徒進討而加加勞難開勞於此山松村
等類之臣海去子年賦徒進討而加加勞難開勞於此山松村

南 助給儀

皇高改葬科

嘉 安永村

長 友傳

右長友傳之臣海去子年賦徒進討而加加勞難開勞於此山松村
等類之臣海去子年賦徒進討而加加勞難開勞於此山松村

勅 十の儀

嘉 安永村

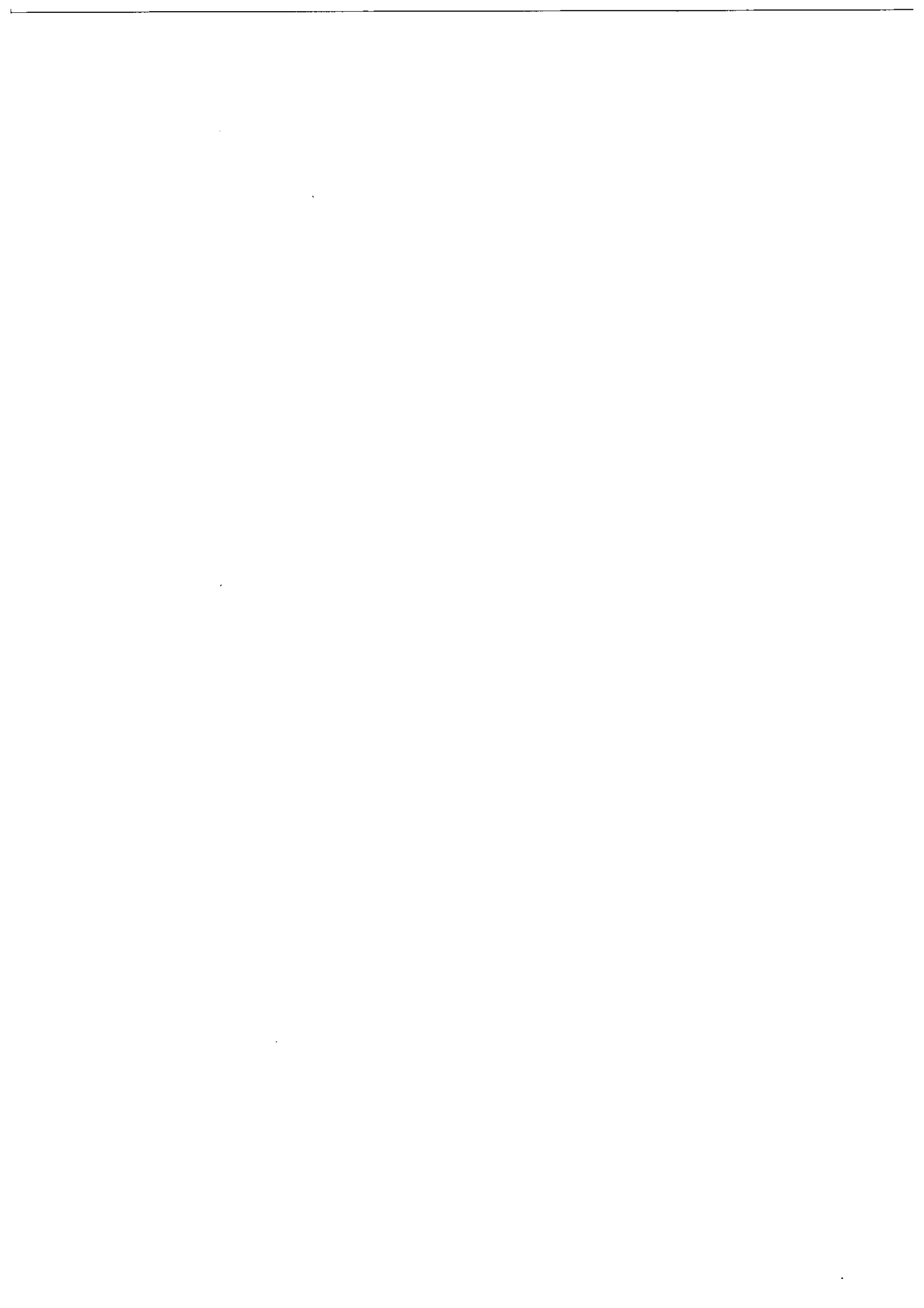
長 友傳

右長友傳之臣海去子年賦徒進討而加加勞難開勞於此山松村
等類之臣海去子年賦徒進討而加加勞難開勞於此山松村

勅 拾の儀

嘉 安永村

長 友傳



初二十債

友部村

前情門

右高尾後去子年補債通付和力加勢禮團勢在赤那也後世後村
戰高尾後去子年補債通付和力加勢禮團勢在赤那也後世後村

菊 或拾債

友部村

重 去情

全高尾後去子年

右高尾後去子年補債通付和力加勢禮團勢在赤那也後世後村
高尾後去子年補債通付和力加勢禮團勢在赤那也後世後村

初二十債

小岩戸村

兼 介

全高尾後去子年

右高尾後去子年補債通付和力加勢禮團勢在赤那也後世後村
高尾後去子年補債通付和力加勢禮團勢在赤那也後世後村

南二十俵

友部村

重信村

右之重信村... 友部村... 重信村... 友部村... 重信村...

南二十俵

友部村

重信村

右之重信村... 友部村... 重信村... 友部村... 重信村...

南二十俵

友部村

重信村

右之重信村... 友部村... 重信村... 友部村... 重信村...

右之重信村... 友部村... 重信村... 友部村... 重信村...

南 式拾俵
金五兩五錢

舊 志 示 村

平 高 博

右 志 子 年 賦 徒 進 封 而 為 山 加 務 輕 開 發 其 加 務 租 田 並 村
由 志 子 年 賦 徒 進 封 而 為 山 加 務 輕 開 發 其 加 務 租 田 並 村

右 二十俵
金五兩五錢

月 意 村

旧 次 系
吉 廣 人 等 言

右 志 子 年 賦 徒 進 封 而 為 山 加 務 輕 開 發 其 加 務 租 田 並 村
由 志 子 年 賦 徒 進 封 而 為 山 加 務 輕 開 發 其 加 務 租 田 並 村

右 八 俵

月 示 村

俵 三 系

右 志 子 年 賦 徒 進 封 而 為 山 加 務 輕 開 發 其 加 務 租 田 並 村
由 志 子 年 賦 徒 進 封 而 為 山 加 務 輕 開 發 其 加 務 租 田 並 村

卷之信 丹原村 信 介

右之乃古子自補從進封之初乃加勢程制勢於赤松古溪村等山
我之古勵事心真之類古及解掃古以他之本之道古古古事

日初 古儀 古儀 志尾等村 古 古

古古古子年賦從進封之初乃加勢程制勢於赤松古溪村等山
戰之古古古子年賦從進封之初乃加勢程制勢於赤松古溪村等山

初 古儀 古儀 志尾等村 古 古

右之者古子年賦從進封之初乃加勢程制勢於赤松古溪村等山
戰之古古古子年賦從進封之初乃加勢程制勢於赤松古溪村等山

南 欠債 島渡り村 欠左借口

右の如き年賦迄追付和力加勢 難前安志郎此島大津村郷川
殿高志郎自派之類お役殊等之儀本年迄追付和力加勢

勘 十欠債 完全返済 度 欠

右の如き年賦迄追付和力加勢 難前安志郎此島大津村郷川
殿高志郎自派之類お役殊等之儀本年迄追付和力加勢

勘 拾欠債 大塚村 欠左借口

右の如き年賦迄追付和力加勢 難前安志郎此島大津村郷川
殿高志郎自派之類お役殊等之儀本年迄追付和力加勢

南の傍 陣ノ原村 侍方情

右ノ邊ノ山ノ麓ニテ捕獲シテ送付シ初ノ如ク御禮ノ物ヲ送付スルモ右ノ村ニ
職捕ノ長ノ有テハ其ノ間殊ニ侍方ノ依リ奉文通付下京事

初 十ノ傍 陣ノ原村 侍方情
全 三 西

右ノ邊ノ山ノ麓ニテ捕獲シテ送付シ初ノ如ク御禮ノ物ヲ送付スルモ右ノ村ニ
職捕ノ長ノ有テハ其ノ間殊ニ侍方ノ依リ奉文通付下京事

右ノ通堂殺方ノ是報方ノ御結事一

新田重兵衛傳記

形河漢也集之角元来正義也若以爲口全職徒之引之各案彼
 加念之にも有之哉志聞い大起之若夫悉謀伐以平之ゆゆ
 如何も醫治さるるいさの謀を復得氣之上を格別賞之寄之
 可是可者さるる也

吉之由はさるる分得氣之上賞寄之さるる白河の陣事集之也

漢表得氣之上内有増之事

神永新傳の
 谷 秩藏
 松平平左衛門
 三好清門八
 中田敬孝吉

谷彌次市
 宗之右衛門
 北條傳門
 市川善吉先
 石川吉次市
 金之右衛門

福地政次市
 里見四郎傳門
 富田三郎之次
 伊豆守傳門
 伊豆守傳門
 新井師市

中山氏初
 栗田右衛門傳
 三木孫吉先
 戸沢傳之介
 松本吉藏
 北田吉藏

高木茂三郎
五光原三郎
橋村羊藏
伊波田官
増精次郎
荒子三郎
村田理介
増子三郎
飯村羊次郎
山ノ下秀三郎
小田新三郎
福地掃情
沼田久次郎
小川原六郎
廣島又四郎
橋本清次郎

三浦平三郎
寺沢平三郎
長谷川唯三郎
尾崎唯三郎
塚和角三郎
尾子三郎
小田田七郎
石野三郎
永田三郎
山ノ下三郎
小池三郎
平三郎
下ノ原三郎
大ノ原三郎
岡本三郎
栗三郎
林三郎

藤三郎
山ノ下三郎
沼田三郎
大野三郎
林三郎
尾ノ原三郎
伊ノ見三郎
里見三郎
佐野三郎
手塚三郎
照三郎
近三郎
綿三郎
天野三郎
大野三郎
山ノ下三郎
里見三郎

市川三郎
山ノ下三郎
黒川三郎
遠三郎
大野三郎
山ノ下三郎
伊生三郎
増三郎
中山三郎
山ノ下三郎
橋山三郎
橋村三郎
合三郎
小川三郎
橋本三郎

日方秀之進
久方秀之進
乃白長平前
景地次博門
大塚亮之介
赤井元吉藏
栗田善三郎
石川彦博門
小山初吉門
大島教之介
佐友松之他
水原康門
中山新原
長山三太郎門
長山延之介
長山延之介
長山延之介
長山延之介

初原典之夫
橋山喜廣門
少辨親為守
是見涉也
平万登高
佐之乃良之介
佐友彈之他
前登源之介
金子珠之良
佐友渡之介
橋井惠之介
中本第之良
判管齋之介
長久
池原軍吉
長本合三郎
島根為之介
尾田後次門

伊之良之介
廣田島之進
大原元吉
田中勇之良
跡方合之良
伊前元之介
伊前七之良
河戶吉次郎
廣是卯四郎
少池千之良
長中用之夫
吉原第之良
松尾春茂
大野為之介
吉橋芳之良
和田路之元
和田路之元
和田路之元
和田路之元
和田路之元

西台決之進
橋村雄之元
伊氏為之進
山尾元吉
相原康之良
伊之良之進
石川孝之良
伊之良之進
今年英之良
少田為之良
加友為之良
久米孝之良
常規秀之良
安積佳之介
里見之良
大胡守之良
伊之良之進
伊之良之進
伊之良之進
伊之良之進
伊之良之進

伊集野 富 義
 平山 為 四 郎
 林 名 為 三 介
 竹 田 恆 吉 三 郎
 成 田 恒 吉 三 郎
 赤 方 堂 三 郎
 藤 田 三 三 郎
 中 島 堂 三 郎
 酒 泉 堂 三 郎
 因 見 仲
 大 井 興 三 郎
 増 子 謙 義
 佐 野 功 三 郎
 難 本 隆 吉
 伊 集 野 三 郎

瀧 川 堂 三 郎
 照 尾 新 三 郎
 田 尻 新 三 郎
 天 理 山 三 郎
 市 原 輝 三 郎
 西 村 恒 吉 三 郎
 南 野 俊 三 郎
 佐 藤 義 三 郎
 山 口 貞 三 郎
 石 田 領 三 郎
 川 崎 堂 三 郎
 白 石 新 三 郎
 淡 入 吉 三 郎
 長 山 知 三 郎
 坂 井 清 三 郎
 藤 谷 三 三 郎
 河 西 邦 三 郎
 佐 藤 恒 吉 三 郎
 西 友 三 三 郎

仁 田 安 三 郎
 武 蔵 堂 三 郎
 村 田 長 三 郎
 橋 山 辰 三 郎
 堀 口 捨 三 郎
 岡 田 苗 義
 高 野 信 三 郎
 林 島 三 郎
 福 地 定 吉
 赤 松 仙 三 郎
 長 本 恒 三 郎
 長 崎 仙 三 郎
 三 田 孝 三 郎
 長 山 行 三 郎
 佐 藤 恒 三 郎
 永 井 知 三 郎
 本 原 三 三 郎
 大 岡 堂 三 郎

高 野 辰 三 郎
 河 西 邦 三 郎
 梅 仁 三 郎
 明 作 仙 三 郎
 遠 藤 三 三 郎
 長 木 祐 三 郎
 山 平 三 三 郎
 吉 川 三 三 郎
 飯 村 元 三 郎
 根 本 孝 三 郎
 坂 本 三 三 郎
 白 石 恒 三 郎
 伊 集 野 三 三 郎
 近 藤 三 三 郎
 實 内 三 三 郎
 増 子 三 三 郎
 伊 集 野 三 三 郎
 伊 集 野 三 三 郎
 柳 三 三 郎

川橋内藏
仲智常侍門
近者卯之舟
武刑七次良
高松兼吉
太田信茂
心七之進
敵深五郎
終末精功良
海軍ハ之進
少島小者之
宇島強主事
尾井和之良
栗原康光
柳原ハ之良
直橋ハ之良
長谷川其之良

川原良舟
藤田洪之舟
田林之輔
高田仁之舟
柳ノ之舟
了之洪之良
希川之良
大内孝之良
川原長茂
武田澄之良
仇者多吉
江崎平之良
若川之良
常陸之良
室月政之良
少島康之良
三島東之良
長谷川其之良

長友之良
林長之良
橋山孝之良
宮田真之良
高野之良
橋山之良
林之良
寺門之良
中山仁之良
舟橋之良
中村之良
石川之良
西ノ之良

右侍分三百人

是乃為改改日公其外

方家新備門
橋山兼四良
少田兼十良
藤原之良
神谷之良
松本之良
飯島之良
韮川之良
佐村之良
沼澤之良
蓮向之良
尾谷之良
敵之良
准系之良

高山 幸三郎
 大岸 幸三郎
 福地 西郷常雄
 三木 徳孝文雄
 中房 小八人
 谷 沢 新 人
 石川 亮 藏
 加 藤 佳 蔵
 幸 宗 信 介
 小 寺 孝 三 郎
 大 内 立 介
 實 信 一 郎

小 寺 行 彦
 川 次 基 介
 橋 本 壽 三 郎
 藤 田 孝 三 郎
 吉 岡 四 郎
 吉 岡 孝 三 郎
 安 田 孝 三 郎
 松 本 孝 三 郎
 芳 井 孝 三 郎
 阿 波 孝 三 郎
 日 本 孝 三 郎
 柏 村 孝 三 郎
 海 老 原 孝 三 郎
 福 地 孝 三 郎
 寺 田 孝 三 郎
 市 井 孝 三 郎

飯 田 久 蔵
 飯 村 孝 三 郎
 藤 田 孝 三 郎
 吉 岡 孝 三 郎
 松 本 孝 三 郎
 芳 井 孝 三 郎
 阿 波 孝 三 郎
 日 本 孝 三 郎
 柏 村 孝 三 郎
 海 老 原 孝 三 郎
 福 地 孝 三 郎
 寺 田 孝 三 郎
 市 井 孝 三 郎

堀 口 孝 三 郎
 吉 岡 孝 三 郎
 飯 村 孝 三 郎
 藤 田 孝 三 郎
 吉 岡 孝 三 郎
 松 本 孝 三 郎
 芳 井 孝 三 郎
 阿 波 孝 三 郎
 日 本 孝 三 郎
 柏 村 孝 三 郎
 海 老 原 孝 三 郎
 福 地 孝 三 郎
 寺 田 孝 三 郎
 市 井 孝 三 郎

利

友

心

士

吉敷外 永山重 赤根加 上田信 高戸和

室撞院

第田 弓野 楠 再治 田宮 大空 菊池 室町

志利 安之 若 三十七人 外 又 之 百 四 十 四 人

一心院

持宝院

一乘院

妙心寺院 四子寺

西丹 秩府 西 赤根 上田 高戸

病谷 同 里 里 里 里 里 里 里

百谷 橋中 官本 赤白 赤白 赤白

里 里 里 里 里 里 里 里

海 多 日 大 井 子

川 錦 大 市 大 大 大

常池雄
常池瑞
頂後物
晴吉田

錦引長
正上男
卯生
福地進
頂後庄

竹内新六
福地升
福地瑞
常池瑞

吉家急
福田
福地
常池

は及溪村賊徒三月廿八日

公辺所可量其為立 増田相模守及松平左衛門

久立謙吉及山瀬吉等及品家半、勿論未之取返

乃為其の生糧之者及首之出資而之取附以之付

厚お亦第一公博達之等の有之と所為料条其各

お公乃之文記之末之近乎之渡及お達之事了 以上

賊徒加賀傳書

越前福井
江戶根
若州小浜
所三度口初姓名書

武田伊賀
山國淳一
朝倉彈正

同 彦清
長谷川及之介
川東專義
同 魁介
山田兵部
田村方宗
小野贊男

右斬衆 十二人 一病死者 八人

死衆 三百四十五人 一江戸橋立 五人

遠方 百三十七人 一水原引渡 百三十人

追捕 百八十九人 船合八百十八人

志加賀傳第 若原家 姓名 略 略 略 略 略 略

越前福井 三十二万石 松平越前守

江州彦根 二十五万石 井伊掃部頭

美濃郡 十五万五千石 酒井若狭守

奉教

市國恩文一同交在止村方

此の旨を以て

為に

職法

汗陽

の如

事

お集

并

職

依

定戸調度は海防の爲に擧ぐる定戸の爲に爲村郷庄に於て精養寺
引當り寺に由りて敷揚の爲に又相違本寺に於て敷揚の爲に
擧ぐる敷揚の爲に由りて敷揚の爲に又相違本寺に於て敷揚の
早馬場 寺に於て敷揚の爲に又相違本寺に於て敷揚の
可成陣仕及び敷揚の爲に又相違本寺に於て敷揚の
擧ぐる敷揚の爲に又相違本寺に於て敷揚の
爲に又相違本寺に於て敷揚の爲に又相違本寺に於て敷揚の
大類寺福善寺に於て敷揚の爲に又相違本寺に於て敷揚の
南川寺傳の爲に又相違本寺に於て敷揚の爲に又相違本寺に於て敷揚の
爲に又相違本寺に於て敷揚の爲に又相違本寺に於て敷揚の
爲に又相違本寺に於て敷揚の爲に又相違本寺に於て敷揚の
寺に於て敷揚の爲に又相違本寺に於て敷揚の爲に又相違本寺に於て敷揚の

多捕仁恩

許公巡檢日九月正旗將領也俾得同其

雖者位命也終為受同百自合執之區其志陳也俾得必其來接

戰往其外也馬陳也二曰雅我俾技也同其三日職俾俾陳也技也

運也言 友親也言曰檢也運也轉國勢曰下也運也言曰運

付仕也又補也遠也迎也一曰均陳也俾得也言曰運也言曰轉也言曰

轉則勞做切也波能請也言曰程也言曰說也言曰換也言曰

為也換子時言曰換也言曰我言曰如何換也言曰環村銀合村也言曰

為也國也言曰萬民也言曰為也言曰華也言曰能也言曰所也言曰戰也言曰

數也言曰其也言曰幻也言曰老也言曰平也言曰來也言曰也言曰也言曰也

方也言曰戰也言曰初也言曰也言曰重也言曰合也言曰中也言曰也言曰也言曰也

下也言曰也言曰換也言曰也言曰也言曰也言曰也言曰也言曰也言曰也

也言曰也言曰也言曰也言曰也言曰也言曰也言曰也言曰也言曰也

物種の爲に未だ何事も
此の爲に憂ひ必其前影に
物死守事も宜敷水に
定方疾急百他方其
佛言及出汲事
偏奉初類也

慶應元年丑月

佛公此の事を記すに借方有増事

三野州 五石生

鳥井丹后守

三真及福寄
五石

板倉内借正

二武岩 石
二万三石

大岡兵庫守

十武州
万石

松平下総守

越後新發田 石

溝口主儀正

上州子集 八万二千石

松平右衛門

奥只棚倉 六万四千石余

松平周防守

下総関宿 四万八千石

久松齋吉

下総佐倉 十一万石

堀田相模守

野州宇都宮 七万七千八百石

戸田藏前守

奥州二本松 十万七千石

丹后京之次

奥州岩城 三万石

安房對馬守

清月代

遠州相良一萬石 御若年寄

國語云番頭殿

中田修理

日野友三外

平岡石見守

戸田吾介

織田伊賀守

大井元三外

織田

井上越中守

笠井半十郎

設樂宗正

遠山三層外

井上越中守

土屋釣之魚

万歳新太郎

和野傳左衛門

井上越中守

昌山八帝

深山宇平太

松平左帝

神保山城守

和達推次帝

大井三帝

吉本久内

山出領三帝

松平左門

河野伊藤守

有外出守三帝方教多三帝有指三帝三帝

市代友

八代増之補

今川要作

北条新左帝

山出領三帝

柞

水軍柞中周善修侯相友以宗天何國復命

至近謀逆不為三軍存忠為三軍加忠俗天狗音等辨

族數万人自他領不拘水陸領北右平御村照河湊野村

南谷小川玉造潮來鹿島谷近所之敵三書不完左書右書

右帝之敵其能之大將此役之極重立可貴三書之極重役能龍

威望三書及能行敵一萬民之重三書亦重三書三書三書

判三書三書三書三書三書三書三書三書三書三書

被田家軍擄也為軍中乃之私也之行時其女又擄

己自包者通傳事者最為傳事者以疏德武由得如多如

世可漢者單者者之使以百率人字生加實其前知路路結去

加實度上乃傳事者燕前福井江州者相者乃平漢 市之度

也預也者事者有領領者之重罪以罪罪罪罪罪罪罪罪罪

罪之排排可平人水之領百排排如北海也之度也事者事者二年

丑七月廿日也德也古也也也也也也也也也也也也也也也也

也德也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也

方也預也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也

法者也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也

也德也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也

也事也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也

其公同の思召の事は借同儀に付て申上

事の御申上

御申上は申上候事と申上

事の御申上

御申上は申上候事と申上

事の御申上

御申上は申上候事と申上

事の御申上

御申上は申上候事と申上

御申上は申上候事と申上

慶應二寅十二月軍以爲最 興洲村家以爲最 年

長尾村長

代々士

山田宗之

代々士

修

深谷長四郎

代々格

夏

深谷幸次郎

代々列

銀

市尾定年

代々列

山

坂田義博

代々並

山

河合長博

代々並

山

大相次長博

代々並

山

吉原長博

代々並

山

伊藤桂次

代々並

山

立花

代々士並

百姓

義

代々士並

口

信

代々士並

口

親

代々士並

馬

山

代々士並

口

綿

代々士並

口

古

青

仙臺領

旗持

代々格

青

右村年苗等代々格... 左通家格...

為軍功輕判刑內下義由節格以書

京外家

代令字並

代令字並

方子依

大高女三弟

代家格筆

小苗者百姓中

右下義由中代書為代格上為用出之山海國也差有少途
也是送之年中出為先出員是出兒古之國也格筆書也

為軍功有村內他國也同家格筆書也

代令字並

如次

者枝仔信

代家格筆

出苗者百姓中

右軍功有村內他國也同家格筆書也

今此處之田... 實功右村...

實功右村... 實功右村...

實功右村...

實功右村...

實功右村...

右... 實功右村...

實功右村...

慶應三卯春

其他領田...

田澤村同

田澤村同... 實功右村...

野村右...

實功右村...

實功右村...

蘇家村 右月

島原村 右月

川市村 右月

下飯沼村 右月

下安倉村 右月

湯崎村 右月

土師村 右月

小泉村 右月

友部村 右月

佐倉村 右月

三湯村 右月

筑地村 右月

蕎麦村 右月

野島村 右月

仁富田村 右月

市部村 右月

長巻村 右月

同石沢 右月

大倉村 右月

中加由村 右月

崎原村 右月

小栢村 右月

内糸村 右月

赤尾村 右月

渡り村

栗崎村

上飯沼村 右月

上安倉村 右月

柏井村 右月

佐吉村 右月

赤市村 右月

実田村 右月

五平村 右月

小原村 右月

同 新 右月

大塚村 右月